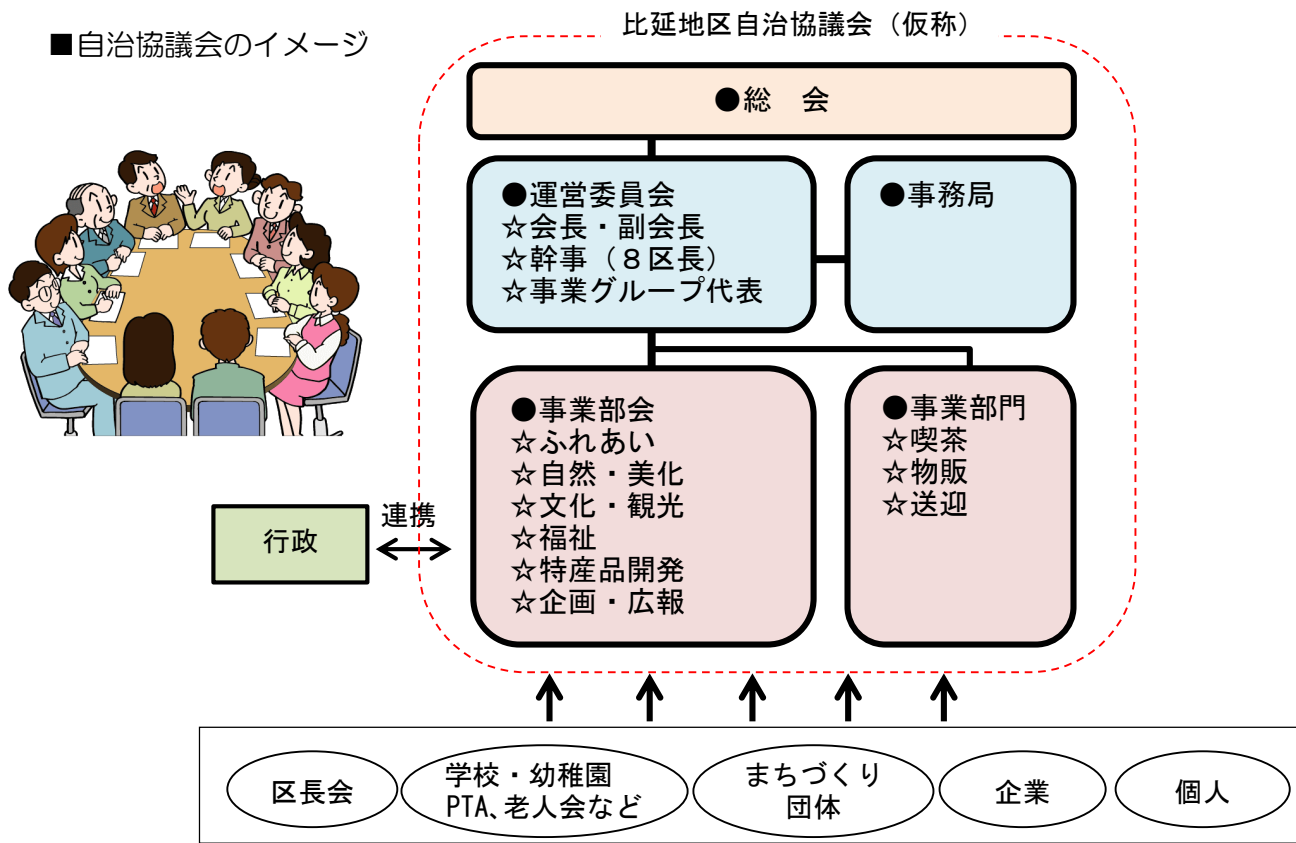


4 協働の場づくり

比延地区のいろいろな人や組織の参画のもとに「比也野里づくり」を進められるよう、「まちづくり協議会」「まちづくり委員会」の合併を経て「(仮称)比延地区自治協議会」の設立を進めます。

■自治協議会のイメージ



人つながり 未来へつなげる 比也野里づくり

—比延地区ふるさと夢プラン（概要）—

比延地区は、播磨風土記の時代から栄えた、自然・歴史・文化に恵まれたところです。比延に住む人々は、固い絆で結ばれ、色々な活動に取り組んできましたが、近年、少子高齢化が進み、商店や医院が撤退したことなどにより、買物や通院などに困る人もでてきました。

この間、「比延地区まちづくり計画」(平成17年3月)にもとづいて、比延地区まちづくり協議会が中心になり、ふれあい喫茶(へそでちゃ)、交流イベントなどに取り組んできました。この流れを絶やすことなく、比延が元気なうちに、まず住民が安心して暮らせる比延を育てる必要があります。また、比延を自立的・持続的に発展していける地域として次の世代に引き継げるよう、新しいまちづくりに取り組む必要があります。

ふるさと夢プランは、地域住民による計7回の意見交換会(ふるさと夢会議)を通じて、比延地区が5~10年先にこうありたいと願ってつくった計画です。私たちは、比延のいろいろな財産を活かし、行政・企業などといっしょに、新しい比延のまちづくりに取り組みます。みなさんの参加・協力をお願いいたします。

平成26年(2014年)3月 比延地区ふるさと夢会議
代表 藤井 琢己



まちづくりの手順

平成26年度から、主に次の事業に重点的に取り組みます。

	1~2年	3~5年	6年~
●多様な交流プログラムづくり	多世代・多地域の交流プログラムの展開		
●買い物・送迎支援	案1: 移動販売サービス → 送迎サービス 案2: 物販充実&送迎サービス		
●田畑や空き家等の管理・活用		田畑、空き家の管理・活用、獣害対策	
●特産品づくり	竹林の再生	竹の子の加工、オーナー制導入	
●田舎観光とI・Uターンの促進		I・Uターンの促進	
●情報発信	IT(インターネットなど)による比延の発信		
●協働の場づくり	組織合併、新協議会の設立	自治協議会の設立	

平成26年(2014年)3月 比延地区まちづくり協議会
西脇市鹿野町720-1 電話: 0795-24-0120

●ふるさと夢会議のあらまし

月日	テーマ	会場	会議の様子
7月26日	「比延を知ろう」 比延の資源・魅力と問題・課題	こみせん比也野	<p>グループに分かれての意見交換</p>
8月29日	「前計画の評価」 できたこと・できなかったこと	こみせん比也野	
9月20日	「こんな比延をつくりたい」 目標像と取り組みの内容	こみせん比也野	
11月1日	「まちづくりの進め方」 取り組みの方策、仕組み	こみせん比也野	
12月~1月	アンケート調査実施 外出、買い物支援について	比延地区全体	
1月27日	「先進地視察」 神河町長谷地区 朝来市与布土地域自治協議会	神河町、朝来市	
1月30日	「自立計画の共有」 自立計画案に関する意見交換	こみせん比也野	
3月30日	「先行イベント」 現地踏査、自立計画の発表	比延地区 こみせん比也野	<p>先進地視察(神河町)</p>

まちづくりの目標と方針

《目 標》

人つながり、未来へつなげる、
比也野里づくり

《方 針》

比延の力を
結集します

外と連携し
外に向けて
発信します

新しい参画
と協働の場
を整えます



みんなで取り組むこと

1 ふれあいの比延づくり

●より開かれたコミセンづくり

- ・こみせん比也野をいろいろな人の交流の場、まちづくりの拠点にします。
例・コミュニティバスの待合室や高齢者等の憩いの場として改修
・誰でもふらっと入れる、くつろいだ雰囲気づくり



よってけライブ

●多様な交流プログラムづくり

- ・比延に住むいろいろな人々が知り合い、交流できるプログラム（場、イベント）づくりを進めます。
例・高齢者と子どもの昔遊びや環境学習、8町合同の文化祭・運動会・ハイキング、まちあるきとマップづくり、パソコン講座



比也野まつり

2 支えあいの比延づくり

●買い物・送迎支援 ※2つの案をもとに具体化・実現化します。

案1：移動販売サービス → 送迎サービス

《第1段階：移動販売サービスに着手》

- ・東部の高齢者などを対象に食料品の定期的な移動販売を実施します。
（こみせん比也野の食料品・惣菜・弁当の配達販売を強化。独居老人等の見守りなども実施）



こみせんの物販コーナー

《第2段階：送迎サービスへ事業拡大》

- ・移動販売サービスが軌道に乗った段階で、西脇市街地（病院、駅など）への定期的な送迎サービスの実現をめざします。



送迎バス（丹波市）

案2：へそで茶の物販充実&送迎サービス

- ・こみせん比也野で取り扱う商品を充実させます。（コンビニチェーンとの提携、魚・肉など業者の出張販売も検討します。）
- ・東部の高齢者などを対象に、へそでちゃへの送迎サービスを実施します。
- ・西脇市街地（病院、駅など）への送迎サービスの実現をめざします。



地区直営のマーケット（神河町）

●田畑や空き家等の管理・活用

- ・住む人にも訪れる人にも、美しく・心地よい比延づくりに向けて、休耕田での景観作物（レンゲ、菜の花、コスモスなど）の栽培、沿道を季節の花で演出するなどの取り組みを進めます。
- ・荒れた田畑の管理や活用、獣害対策、空き家に関する情報の管理、移住希望者等への情報の提供に比延地区として取り組みます。



比延地区の田園風景

3 チャレンジする比延づくり

●特産品づくり

- ・荒廃が進んでいる高嶋町の竹林の再生、竹の子の加工、観光への活用（竹林オーナー制など）を高嶋町とともに進めます。
※竹林オーナー制：都市の住民に竹林の所有者になってもらい、竹林の間伐、土入れ、竹の子掘りなどを楽しんでもらう仕組み
- ・キクイモ、ひょうたんなどの特産品づくりをさらに進めます。
- ・比延地区の伝統工芸品（例：竹ぐし、毛針など）の復活をめざします。



高嶋町の竹林

●担い手づくり

- ・比延に定住して頑張る若い人が増えるよう、自然・歴史・文化、遊び・スポーツなどを通じた多世代の交流、人材育成（※）を進めます。
※比延に残ることに加えて、都会に一度出て行って仕事・技術を身につけて帰って貢献するなど、いろいろな選択肢があることを伝えるなど



ひょうたんを使った交通安全キャンペーン

●田舎観光とI・Uターンの促進

- ・比延を訪れる人が増えるよう、比延の「見る・食べる・遊ぶ」をマップにまとめ、へそでちゃなどに配備します。
- ・休耕田の貸農園などへの利用、情報の提供や受け入れなどに地区として取り組みます。
- ・比延の力になるIターン者、Uターン者などが増えるよう、外に向けて比延をアピールします。
※Iターン：他の地域から比延に移住すること、Uターン：一度都会に出て行った比延の人が戻って住むこと



マップの例（朝来市）

●情報発信

- ・比延のまちづくりへの参加者や来訪者・移住者が増えるよう、ホームページ、フェイスブックなどを用いて比延の魅力を発信します。
- ・比延を発信できるイベント等の開発・実施をめざします。



Iターン者が住む「みんなの家」（丹波市）